

(2) 自転車の安全・快適走行における空間デザイン

国道3号千早・名島地区における自転車通行空間の確保(1/3)

検討テーマ

(1) 安全で快適な自転車通行空間の確保

事業名：千早・箱崎自転車通行空間整備事業	
路線名	国道3号（福岡県福岡市）
事務所名	福岡国道事務所
実施年度	令和元年度～施工中
事業箇所	福岡県福岡市千早・箱崎地区
事業延長	自転車通行空間整備区間：約2.3km
検討区間の概要	検討区間としては、国道3号香椎参道口交差点から名島橋東交差点間の自転車通行空間整備区間の約2.3kmが対象である。 検討区間は、沿道に学校や病院、商業施設等が隙間無く立地し、自転車と歩行者の交通量が約3,400台・人/12hと多い状況で、（自転車：1,600台/12h、歩行者1,800人/12h）、自転車と歩行者も混在しており、特に上り線側の歩道は狭いため、自転車と歩行者のすれ違いが厳しい状況であった。一方で、車道部は6車線に約70,000～80,000台/日と九州屈指の幹線道路であり自動車交通量も多く、自転車に対する対策が必要であった。

位置図



出典：地理院地図

整備前の状況

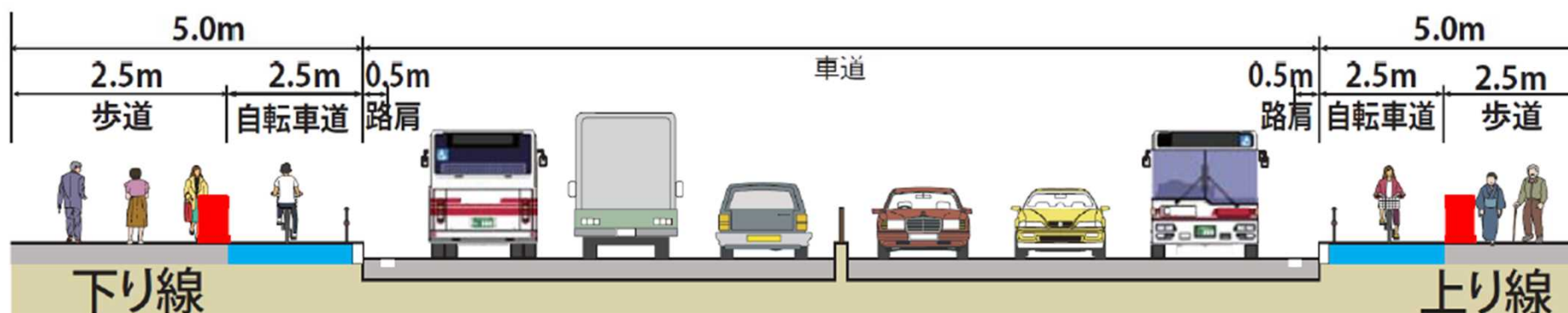


(2) 自転車の安全・快適走行における空間デザイン

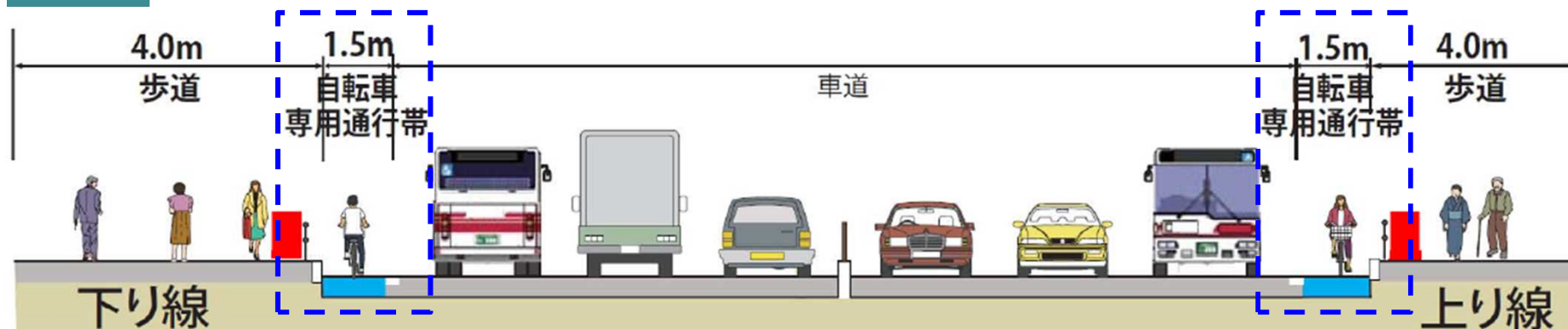
国道3号千早・名島地区における自転車通行空間の確保(2/3)

検討テーマ	課題	改善策・検討内容等	対応策
自転車通行空間の確保	自転車と歩行者の動線分離	自転車と歩行者の動線分離のため、自転車専用通行帯の設置を検討	車道レベルに自転車専用通行帯の設置により、歩行者との動線を分離

改善前



改善後

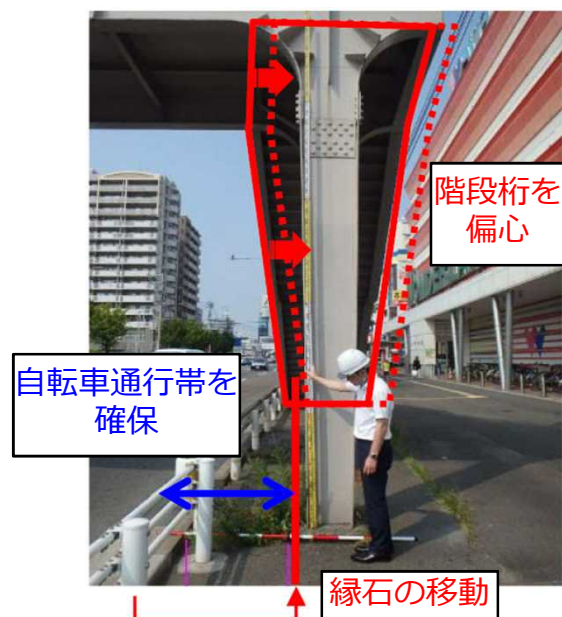


(2) 自転車の安全・快適走行における空間デザイン

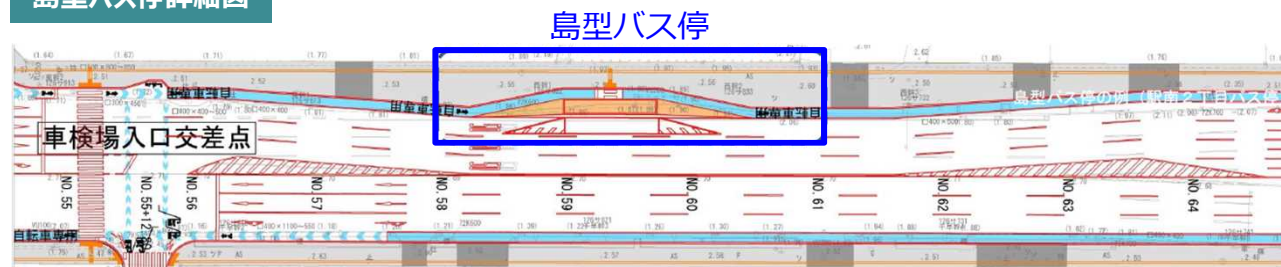
国道3号千早・名島地区における自転車通行空間の確保(3/3)

検討テーマ	課題	改善策・検討内容等	対応策
自転車通行空間の確保	横断歩道設置箇所における自転車通行空間の確保	自転車専用通行帯の幅員確保のため、横断歩道橋の撤去についても検討	- 自転車専用通行帯の幅員確保が困難かつ、横断歩道の利用者が少ない場合は、横断歩道橋を撤去 - 自転車専用通行帯の幅員確保が困難な場合は、階段桁を偏心
	バス停における自転車通行空間の確保	自転車通行空間の安全性のため、島形のバス停についても検討	- 歩道幅員が確保可能な場合は、島型のバス停を設置 - 歩道幅員が確保困難な場合は、自転車利用者の安全性に留意の上、直線型のバス停を設置

階段桁の偏心



島型バス停詳細図



直線型バス停設置時の留意点

